

# いたわい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会

[編集委員] 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、桐原久雄

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799



リフト等展示体験会・持ち上げない移乗・移動介護の実演

## 介護現場における腰痛予防対策について

（一社）茨城県福祉サービス振興会の取り組み

### 1 腰痛の現状

「介護の現場で働いていたけれど腰痛になったから転職した」という話をよく聞きます。平成23年度に富山県が介護施設職員に行なった腰痛実態調査では1925名のうち61%の方が腰痛ありと回答し、このうち約30%の人が常に痛いと答えています。

特に社会福祉施設をはじめとする保

健康生業では、平成23年までの10年間で発生件数が2・7倍に増加していることから、厚生労働省は、平成25年6月、19年ぶりに「職場における腰痛予防対策指針」を改訂しました。

この中で、介護作業の適用範囲・内容の充実では、「重症心身障害児施設等における介護作業」から、「福祉・医療等における介護・看護作業」全般に適用が拡大され、腰部に著しく負担のかかる移乗介助等では、リフト等の福祉機器を積極的に使用し、原則として人力による人の抱え上げは行なわないこと等が記述されました。

### 2 (一社) 茨城県福祉サービス振興会の腰痛予防への取り組み

腰痛については、介護職が職場を辞める理由の7位(14%)との調査もあり、介護職の腰痛軽減は介護職の人材確保・定着の面からも求められている。従って、福祉用具の活用促進と介護職の腰に負担を掛けない介護技術の定着について、介護事業者の理解を得ることが必要であることから振興会では腰痛予防対策に取り組んでいます。



「リフトリーダー養成研修」車イスからベットへの移乗介助実習

腰に負担をかけない作業姿勢・動作の技術研修は、平成25年度まで移動・移乗の介護技術の一環として行っていました。平成26年6月の講演会での腰痛予防啓発の後は、腰痛予防研修、リフトリーダー養成研修と目的を明確にして実施してきました。平成27年度には地域医療総合確保基金を活用した茨城県介護職員腰痛予防推進事業が採択され、腰痛予防に関する指導者研修(3日間)、腰痛予防研修(2日間)、リフトリーダー研修(2日間)、及びこれら受講者の在籍施設でのフォロアップ研修、腰痛予防講演会を開催しています。





「スタッフ運営会議の席上、モデル施設の指定証を授与」  
左：うみべの家 加部東理事長、右：振興会上野副会長



「茨城県介護職員腰痛予防モデル施設第1号に指定」  
うみべの家（大洗町）

そして平成28年度には、組織的な腰痛予防対策の取り組み、利用者の能力を積極的に活用する介助方法、利用者に応じた福祉用具の活用についてマニュアルを整備して腰痛予防対策を

実践している施設を、茨城県介護職員腰痛予防モデル施設として、大洗町の社会福祉法人浩喜会「うみべの家」を指定し、腰痛予防を推進しようとする他の施設職員を研修生として受け入れることにより総合的な腰痛予防対策を一層推進することといたしました。

これら一連の取り組みは、富山県介護実習普及センターのお力添えをいただいております。

振興会では、講演会開催の他、これまでに腰痛予防研修183名、リフトリーダー222名、腰痛予防指導者60名の養成を行ってきましたが、県内の介護事業所で福祉用具を使って組織的に腰痛予防対策に取り組んでいるところは少ないのが現状です。

福祉用具を使用した腰痛予防対策の必要性は分かっていますが、対策が進まないのは、福祉用具の導入費用負担や人手で行なった方が早いという考えや福祉用具を利用した介護技術の教育が行なわれてこなかったことなどが考えられます。

しかし、利用者の介護度の重度化や介護職員の高齢化などから、腰痛予防対策を行なわないと介護職員の確保（離職防止）は今後ますます厳しさを増すことが予想されます。

このため、施設として腰痛予防対策に取り組む方針を決定し、腰痛予防対策

策指針にあるように①腰痛発生要因の把握、②介護作業リスクの評価、リスクの回避・提言措置の検討・実施と手順を踏んで取り組んでいく必要があります。

腰痛予防対策の取り組みには、ある程度時間が必要ですが、しかし対策は急を要します。

振興会では、29年度も腰痛予防推進事業として各種研修を実施します。これらの研修や各種助成制度を活用し、各施設の状況に応じた腰痛予防対策に取り組み介護職員の腰痛の改善を図っていただきたいと思います。

### 3 今後の取り組み

## 第42回 通常総会

### 一般社団法人茨城県福祉サービス振興会 役員名簿

さる、5月24日（水）（一社）茨城県福祉サービス振興会平成28年度通常総会が開かれ、上程された二件の議案と三件の報告事項は、全会一致で承認された。

役職名	氏名	勤務先
会長（代表理事）	鈴木 一良	鈴縫工業(株)
副会長	大森 昌弘	(株)常陽銀行
副会長	上野 義幸	(有)ロイエル商会
副会長	梅澤 秀樹	(株)デベロ
常務理事	沼田 英治	(株)日立ライフ
常務理事	宇田川 貞由美	(株)あおば
理事	安藤 眞理子	(株)ブラザマム
理事	柳下 文江	(株)ハース
理事	能本 守康	(株)ケアファクトリー
理事	小室 博俊	大富印刷(株)
理事	國谷 和啓	(株)ヤマシタコーポレーション
理事	宮城 みどり	(株)ニチイ学館水戸支店
理事	田中 博文	(株)ロングライフ
理事	坪 愛子	医療法人三愛会
理事	野原 和夫	ウエルシア介護サービス(株)
理事	松崎 佐一郎	マツザキマテリアル(株)
理事	菊池 巧	茨城県福祉サービス振興会
監事	植田 啓二	(株)筑波銀行
監事	齋田 寿美	(社)福 聖隷会



福祉用具展示ホールのご案内

来て  
見て  
聞いて  
試して  
選んで

実習出来る  
フロアー

場 所 茨城県総合福祉会館2階  
水戸市千波町1918番地

会館時間 9時〜17時

休館日 土・日・祝日、年末年始  
(但し、予約の場合可)

展示ホール見学

- ・展示品約300点
- ・介護ロボット8点
- ・随時見学可
- ・福祉用具の試用体験
- ・DVDの視聴

福祉機器特設展示コーナー(二階)

- ・最新の福祉用具の展示  
(月替わりで新機器紹介)

DVD・図書の貸し出し

- ・介護関係DVD95本
- ・図書82冊

貸し出し条件

- ・2週間以内
- ・一人、一回、3冊まで

・料金無料

相談・案内

- ・福祉用具の使い方、選び方
- ・介護保険が利用できる福祉用具、住宅改修
- ・関係行政機関・団体への案内、販売店の紹介

いばらき福祉機器特設展示コーナー



車イス (6月：月刊展示品)  
展示協力：日本福祉用具供給協会  
北関東支部茨城ブロック

問い合わせ先

029(244)4425  
(一社) 茨城県福祉サービス振興会

展示・相談担当まで

会・員・事・業・所・訪・問

中央労働金庫



住 所：〒310-0062 水戸市大町 2-3-30  
電 話：029-221-4181  
本 店：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5  
代表者：松迫 卓男 (理事長)  
設 立：1952年4月25日  
(2001年4月1日合併)  
従業員数：2,407人 (2016年3月末現在)  
店舗数：149店舗 (茨城県内31店舗)  
営業エリア：茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・山梨の関東1都6県  
ホームページ：http://chuo.roken.com

ろうきんの基本姿勢

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などの働く仲間が、お互いを助け合うために資金を出し合ってつくった共同組織の福祉金融機関です。ろうきんは働く人たちの暮らしを支え、快適で過ごしやすい社会づくりに寄与することを目的としています。

福祉分野への取り組み

中央ろうきんでは、高齢の方や障害のある方など様々なお客様が利用しやすい金融機関をめざし、点字誘導プ

ロック、店舗出入り口の段差解消のためのスロープ・手すり、車椅子利用者専用駐車場、オストメイト対応多目的トイレ等、店舗のバリアフリー化を順次進めています。また、耳の不自由な方が円滑にご利用いただけるよう、コミュニケーションボードをはじめ各種ツールを全店に配置しています。

一方で、車椅子やアイマスク、高齢者疑似体験セットなどを使用した体験型の職員研修も実施し、お客様満足度の向上に努めています。

会・員・事・業・所・訪・問

鈴縫工業株式会社 介護事業部「ほっと・すてい なめかわ」



住所：〒317-0052 日立市東滑川町1丁目36番1号  
電話：0294-26-7088 FAX：0294-26-7089  
代表者：鈴木 菜穂子  
ホームページ：http://www.jsdi.or.jp/~hot-stay/  
Eメール：hot-stay@jsdi.jp

だが、居心地がよいのか、他の施設へ入所待ちしていて1年近くいた利用者もいる。

入所される利用者は日立市から北茨城市と広範囲である。退屈にさせないよう、に外食やお花見・ドライブなどイベントを沢山企画しているのも特徴である。

在宅で介護されている家族が、冠婚葬祭や出張・所用などで一時的に介護できなくなった場合に、家族に代わってお世話させていただく。定期的に利用される人もいる。

■業務内容  
短期入所生活介護施設  
(介護予防も含む、定員26名)  
**短期のステイ 《第2の家》のような気持ちで生活していただきたい**  
当事業所の特徴は居心地の良さ、在宅生活と変わらぬよう安心して楽しんで生活していただくサービスにある。1日から数日の短期ステイが中心

一日の生活は、起床→朝食→入浴→昼食→レクリエーション→夕食→就寝と入所者のペースに合わせ進めていく。リラックスして1日を過ごしていただけるのが「ほっと・すてい なめかわ」の魅力である。

インフォーマーセッションコーナー

講座・研修

開講しています！

— 人気のある講座は —

キャンセル待ち状況 —

今年度も（一社）茨城県福祉サービス振興会及び茨城県介護実習普及センターでは、介護関係の講座、研修会を開講しています。

家族の介護をする側、される側を応援する「一般県民向け福祉講座」、専門職員を対象とする「介護技術講座」、「専門研修」、「訪問介護員スキルアップ研修」、「ケアマネジャー講座」、リーダーを養成する「リーダー研修」、新たに管理者になる方を対象とした「新任管理者研修」など経験に応じて、キャリアアップできる講義内容となっています。

知っておきたい医療知識

介護関係講座に加え、急変時の対応や介護する上で必要な医療知識を深める「医療講座」、社会問題にもなりつつある認知症についての理解や対応を学ぶ「認知症講座」、さらに、「感染症対策講座」などの医療関係分野の講座も好評受付中です。

認定試験など

また、リフトリーダー養成研修修了者を対象とする「リフトリーダーフォ

ローアップ研修・リフトインストラクター認定試験」なども行います。

充実した講師陣がお待ちしています

大変好評な講座、人気のある研修(47コマ)を企画、内容の充実を図るとともに、専門分野を極める実践力のある講師陣を配置しました。

詳細は、当会発行「介護講座・受講者募集のご案内」または「茨城県福祉サービス振興会ホームページ」をご覧ください。

定員に達し、受付を終了した講座もありますので、ホームページで確認してお申込みください。お待ちしております。



問い合わせ先

029 (241) 69939  
(一社) 茨城県福祉サービス振興会・研修担当まで

編集後記

軒下の野鳥の巣が気になる。昨年は沢山の壁蝨が発生。駆除すべきと思う心を察したか、親鳥が飛び立ち、電線よりじっと見ている。巣を撤去したら、卵が三つ落ち心が痛む。金子みすゞの詩の一節、ずすめの母さん じっと見つめていたが胸をよぎった。(小室)